

児童・生徒用

内容説明書 (審査・展示用)

(第54回)

受付番号	310	学校No.	5
ふりがな	いなむら ちなり	学校名	入善町立 上青小学校
氏名	稲村 千成	学年	第3学年
作品の名称	フェルトでおかたづけ		

(特徴)

大きさが同じフェルトの布地を何枚も重ねて張り合わせている。のり付けの位置をフェルトによって変えることで、開いた時に格子状の隙間ができるように工夫されている。

格子状の隙間はフレキシブルに広がるため、細いものでもある程度太さがあるものでも、ぐらつくことなく収納することができる。また、様々な大きさや形の小物を収納することに対応できるよう、ボンドを付ける幅を変えて大きな隙間と小さな隙間を作っている。

必要なものは、フェルトとボンドだけであり、はさみを安全に使うことができれば小さな子供でも安心して製作することができる。毎日、実用的に使うながら、隙間を広げる楽しさと仕上がった喜びを味わうことができる。

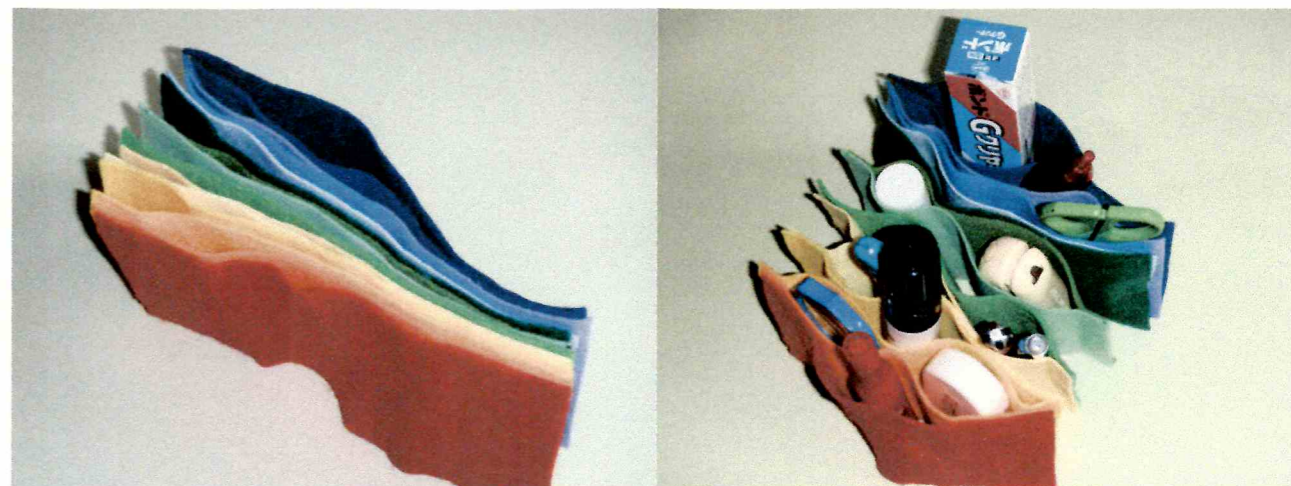
(使い方)

ダンスの中で、フェルトの隙間を広げハンカチ・靴下などを入れたり、机の上に置き、フェルトの間を広げ文房具などを入れる。

◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。

- ① () テレビ、科学雑誌、参考図書など
- ② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから
- ③ (○) 講師や先生、両親などからヒントをもらった
- ④ () 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から
- ⑤ () その他、自分で考えた

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。(※太枠内でご記入ください)



「フェルトでおかたづけ」

(用いる物)
 ○フェルト ○ボンド

(作り方)

1. フェルトのりょうはじに、四角のようにボンドつけフェルトをかさねる。
2. フェルトのりょうはじにまん中にボンドをつけて、フェルトをかさねる。
3. フェルトのりょうはじから3分(あたり)にフェルトをつぎ、フェルトをかさねる。
4. 2~3を、くり返す。
5. フェルトのりょうはじに四角のよりにボンドをつけてフェルトをかさねる。

(作ってみての感想)
 ○くつ下やハンカチなど、お田舎のものをかたづけるにべりたし、思いまる
 ○ダンスの大きさを計ってから、フェルトのサイズを決めるとよい。

稲村千成

【記載注意事項】

1. この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
2. 第一次審査は、この説明書のみでなされ、使用法など不明確な場合は、審査にもれることがあります。
3. 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
4. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
5. この内容説明書は締切日まで事務局へ提出して下さい。